
「私の恋心」

空 藍架

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「私の恋心」

【Nコード】

N9370A

【作者名】

空 藍架

【あらすじ】

私が今、実際に味わっている恋愛小説です。主人公の好きな相手が他の人を好きになって結婚しちゃいます。

気持ち

私の恋の始まりは今の職場に就職してからでした。

高校生の時の実習先だったので、卒業する時に「卒業したらここにおいで。」と言われたのです。もう、それはそれは嬉しかったですね。

親と一緒に喜んでいました。私が就職出来るはずないと思っていたので……

私は自分の事を文章に書くのは苦手です。でも、それじゃあいけないと思って今から頑張って書いていこうと決意しました。

最初は何から書いていけばいいでしょうか？わからないので、思いついた事から書いていきます。

まずは、就職した後に今、思い返せば初恋だったのだろうなあっと思ふ気持ちがやってきたのです。その人は私が就職して2、3ヶ月してからひょっこり就職してきたのですよ。

初めの印象は

「背が高い」

「真面目」

「おもしろい」

「笑った顔がかわいい」
でした。

ああ、この人いいなあっとか、おもしろいから好きかも。と言うはつきりとした自分の気持ちが生まれてきたのです。

でも、告白しようとは思いませんでした。初めての気持ちだったし、どうしたらいいのかわからなかったから……

その人を見守るような感じでしたね。楽しく会話をして、一緒に笑ったり。

しばらく経った頃、その人に彼女がいると言う事をどこからか聞きしました。やっぱり彼女いるのかあ。まあそうだよな。っと気持ちの整理はついたのかもしれない。

そして、私が就職して半年くらい経った時に親友との出会いがあったのです。その親友とは今でも仲良しです。その子にあだ名をつけて呼び方も気に入っていました。彼女とはすぐに仲良くなれて、詩とか小説をお互い書いている事がわかってお互い書いた文章などを見せ合うようになったのです。彼女は優しいし、おもしろい、詩の才能あるなあ。っと思っていました。

でも、彼女は就職してピツタリ半年で仕事を辞めてしまいました。彼女と仕事場の人間関係など理由は色々あったんです。

何をするにも

「彼女ならどうするだろう?」

ってまず考えていましたね。そして、私がこの小説に書きたかった事は別にありません。

私が就職してちょうど1年経って、新入社員が入社してきたのです。その新入社員の中に私好みの男性がいたのでした。別にその時は、かっこいいなあくらいにしか思っていなかったんですが、次第に惹かれていったのです。

彼と話せるのは昼食の時間くらいでした。私のいる席と彼の席は遠かったのになかなか話せなかったのです。

昼食の時間に彼と色々話をして、少しずつ仲良くなっていったんです。

なんとか就職して2年目くらいの時に、ちょっと事情がありまして職場の引越しがあったのです。その時に席替えもあったのですね。

その席替えをした時は彼が体調不良だったのでなかなか仕事には来られなかったので、私の隣の席は空席だったので誰なんだろうなあっと思う程度だったのです。そして、1ヶ月くらいたったある日彼が出勤してきたのです。

彼は上司に挨拶をして席の場所を聞いて、私の隣の席にやってきたのでした。

その時は嬉しかったです。好きな人が隣の席なんですから。

彼に

「彼女はいるの？」

と聞いたところいるとの答えが返ってきたのです。返事を聞いてしまつて少し後悔してしまいました。でも諦めようとは思いませんでした。この思いだけは諦めたくなかったのです。こんなに人を好きになつたのは初めてだったから。

ところが、彼は仕事を辞めてしまつと聞いたのです。なんでも仕事を辞めて結婚するそう。その頃の彼は私の家にちよこちよこ遊びに来てくれていて、私は嬉しかったのですが。

でも、結婚して遠くに行つてしまふのなら・・・と思つて、思い切つて彼に告白しました。彼の返事がわかりきつているから言えたのかもしれないね。

こんな、身体をしている私にも恋愛しようと言う気持ちはどこかにあつたのでしょね。

彼の返事は予想通りでしたが、私は自分の気持ちを打ち明ける事が出来てよかったと思つていました。

それからすぐに彼は仕事を辞めてしまいましたので、告白した気持ちもそのまま心の中に残っていました。あっさり振られていたらスッキリ忘れられたのかもしれないね。

しばらく私の隣の席はあいたままでした。年末でしたのでちよこちよこよかったのかもしれないです。ちよこちよこ年末で来年から新しい気持ち

ちでと思っていたんですが、新年の出勤をしたら彼が戻って来ていたんです。私の隣の席に。

私はびつくりしてしまって

「なぜ？」

と彼に聞きましたもの。どうやら彼女と別れたようで。チャンスかもとは思いましたが口にしませんでした。ずうずうしいですからね。彼は他に好きな人が出来たからと言っていました。その相手も私は知っているんですけどね。

私はちよつと病気をしまして、お昼頃に看護師さんが来てくれてくれるんです。

彼の好きな人とはその看護師の一人でした。

その看護師と私は仲がよくてメールなどをよくしていました。

私はその看護師に好きな人は 君だとバラしてしまっていたのです。どうして話してしまつたのかはわからないんですけど、少し楽になつたのは覚えています。

看護師も応援してくれていたので嬉しかったですね。

しばらくすると、いきなり飲み会に誘われたのです。初めはびつくりしましたが、大人になつた事を認めてもらえたようで嬉しくって参加しました。みんなで会費を集めて食事をしたり、みんなとゆっくり話が出来たので嬉しかったですよ。だいたい、7、8人で集まるのが続いてました。楽しかったし、また行きたいなあと思ひました。みんなお酒が入ると性格が変わっておもしろい。

その時の飲み会に例の看護師を呼びたいと言う事で、私が誘って呼びました。

まあ、その看護師は私が今まで出会つた事がないくらいおもしろい人で、私にとつてもお気に入り的人物だったので。

彼も喜んでいたみたいだからいいんですけど、私は2、3回目とな

つてくると嫌でした。好きな彼が喜んでいたのはいいんですが、私一人ポツンとなっていた時があったのです。それは毎回ありました。まあそれはいいんですが、みんなが楽しんでいるのを見てるのは楽しいからね。いいんですけど、一人で嫌な気分になってました。

その彼は看護師と付き合いたいみたいで毎回家まで迎えに行っていたんですよ。

いつも彼の車で二人が来るので嫌でした。なぜ？って思いませんか？好きな相手が他の女と来るんですよ？！

私は嫌です。すごく嫌！！別に誰にも言うつもりはないんだけど、どうしたらいいのかわからない。

そんな事が何回か続いて、ある日彼が海外旅行に行くって言ったの。別に看護師の彼女と仲良く旅行するんだあなんて思っていたら、海外で挙式をあげて帰ってきたって聞いて確かめたら事実であつてとってもビックリしました。

それを聞いてからの私はもうめちゃくちゃでしたね。

怒りと言ったほうが正しいかもしれませんが。誰にブツケル訳でもなく一人心の奥底で怒っていました。なぜ、内緒で結婚してしまつたのか。私の気持ちをも二人とも知っていたはずなのに。なんて言えбайいのかわかりませんが、嫌な思いは抜けてくれませんでした。彼は隣の席だから嫌でも話さないと不自然だし、だからと言って前のようになんでも話そうという気持ちにはなりません。二人が結婚してからは、一切彼には

「好き」

って言っていない。ケイベツしたと言つたらいいんでしょうか？しばらくの間一人でモヤモヤしていたんです。なぜ？なぜ？って。知り合つて一年も経っていないのに結婚ですよ？！結婚してもつと

時間をおいた後にするものだと思うんです。私ならもう少し考えます。知り合って間もないのに、結婚つてすぐに出来ますか？そんなに簡単なものじゃないですよ。

看護師の方は離婚していて、子供が三人いるんです。私はなんで、こんな人を好きになつたんだろう？こんな人達とは二度と会話したくないと今でも思っています。

そんなこと出来ませんがね。これからも同じ職場で働く以上話さなくてはやっていけませんから。看護師は週に一回来るか来ないかですし、そんなに心配はしていませんが。

聞かれない限り言いませんが、嫌な事だけは確かです。

自分の気持ちを偽^{いつわ}って見せるって難しいです。想像しているよりもずっと。

私はこのままじゃいけないと思って昔職場にいた子には話しました。親友だった子です。今でも親友ですがね。その子とはいろんな約束をしていまして、免許だとか、詩とか、訓練を手伝ってもらう約束だとか、結構いろいろしてるでしょ？？

今ではなかなか会う事は出来ませんが、向こうの仕事の都合などでなかなか難しいのです。

けれどもいろいろな約束をしてなんでも話せる親友です。どうしてあの子にはなんでも話せてしまうのでしょうか？嘘もつかずにお互い話せるのでいい友達です。

親友に出会ってから私は変わりました。化粧も自分で出来るようになったし、人生を前向きに考えるようにもなりました。それは親友のお陰だと思っています。

親友もちょうど出会った時は病気でした。私に出会えたから元気に

なれたと言つてまして、私は嬉しくつてたまりませんでした。表情も緩みますからね。

親友とはいつでもメールしています。今日の出来事とか嫌やった事を書いて聞いてもらったり、相手の愚痴を聞いたり、会う日の約束などまだまだ他にもありますが、いつもメールをしているので離れている感じがしません。いつも一緒にいるようです。

こんなに辛い思いをしても彼女がいる。彼女がいてくれるんだから最後にはちゃんと立ち直ろうと決めています。

その看護師は結婚してから1度だけ訪問で私の所に来ましたよ。その時はなんて話せばいいのかわからなかったのが本音です。彼よりはマシでしたがね。どうして、私の好きな人と結婚しておいて普通に話せるんですか？怒りも悔しさもあるこの思いをどうぶつけていいかわかりません。

何もなかったかのように話すのはキツかったです。怒りたい、悔しい思いをぶつけたかったのですが、職場でしたし、そんな事をすれば看護師とも気まずくなってしまうと思って我慢していたのですよ。おかげで、私のところに来る看護師は嫌いな人が多くなってしまいましたよ。

私の支えになつてくれるのは親友だけですな。

看護師も嫌、彼も嫌、メールをするのも嫌ですな。この二人とは、私の気持ち、想いを知っているのはごく僅かな人だけです。でも、二人が結婚してから私を心配してくれたのは友達三人でした。他の人も心配してくれているのかもしれないませんがその事に触れる内容の話はしていません。

触れないほうがいいと思つて黙つていてもらえたらなあと一人で

思っているのですが。

看護師からメールもたまに来ますし。

「なんで、メールしなかったの？」

なんて事も聞かれました。適当にそれらしき理由を言っておきましたかね。

私の気持ちはまだまだスッキリはしませんが、今の仕事場は辛い事ばかりです。

信用出来る人はいませんし、毎日がしんどいですね。

気持ち（後書き）

自分でも気持ちが曖昧で書きましたので、読みにくい部分もあったかもしれないが了承して頂けると嬉しいです。

感想などあったら言って下さいね。

最後まで読んで下さりありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9370a/>

「私の恋心」

2011年1月4日14時34分発行